

[成果情報名] ウンシュウミカン園における光反射資材の物理的防除効果

[要約]

光反射資材をウンシュウミカン園に部分敷設するとチャノキイロアザミウマ及びアブラムシ類の飛来量が減少し、物理的防除の効果がある。また、ミカンハダニが多発することはない。光反射資材は白色透湿性シートが最も高い効果を示し、耐久性、雑草管理等からも、最適な資材である。

[キーワード] 光反射資材、白色透湿性シート、物理的防除、アブラムシ、
チャノキイロアザミウマ

[担当機関名] 果樹試験場・環境部 **[連絡先]** 0737-52-8717

[部会名] 果 樹 **[分類]** 普及

[背景・ねらい]

エコファーマー、特別栽培等の増加を図るために、薬剤散布を減らせる物理的防除法の確立が必要である。そこで光反射資材を用いた物理的防除効果を検討する。

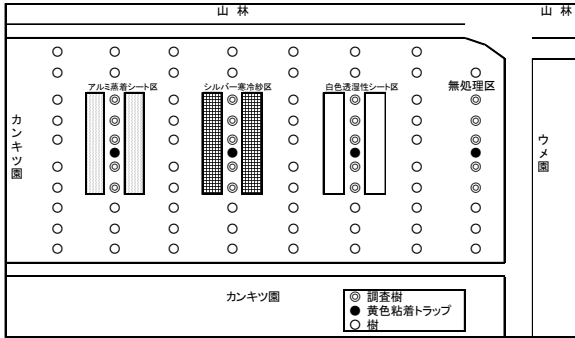
[成果の内容・特徴]

- 1) ユキヤナギアブラムシの飛来を各光反射資材ともに抑制し、無処理区に比べ、春梢の寄生を低く抑える（第2図）。
- 2) チャノキイロアザミウマの誘殺数が増加した8・9月に各光反射資材とも誘殺数を低く抑え、飛来防止効果がある（第3図）。
- 2) 白色透湿性シートはチャノキイロアザミウマの被害がなく、他の反射資材では飛来は抑えるものの無処理と同程度の被害がある（第4図）。
- 3) マルチ栽培にみられる乾燥等によるミカンハダニの多発は認められない（第5図）。
- 4) シルバー寒冷紗は格子織りのため雑草が目間から繁茂し防除効果が低くなる。アルミ蒸着反射シートは調査やその他の管理作業の際、シートが踏まれることで劣化し、アルミが徐々にはがれ落ち防除効果が低下する。
- 6) 以上のことにより、光反射資材による飛来害虫の物理的防除には白色透湿性シートが最も有効である。

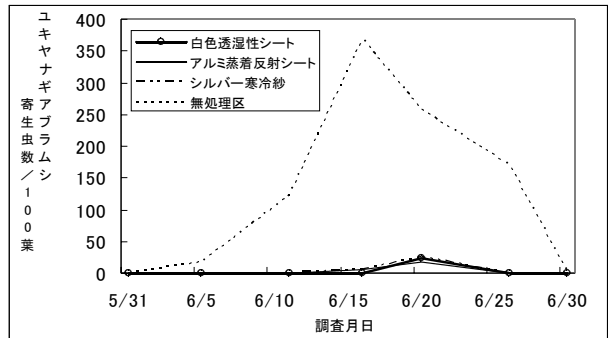
[成果の活用面・留意点]

1. エコファーマー、特別栽培で殺虫剤を大幅に減少させることができる。
2. 光反射資材を利用しているので、密植園では効果が低下する。
3. アブラムシが飛来する5月上旬までにシートを敷設する。

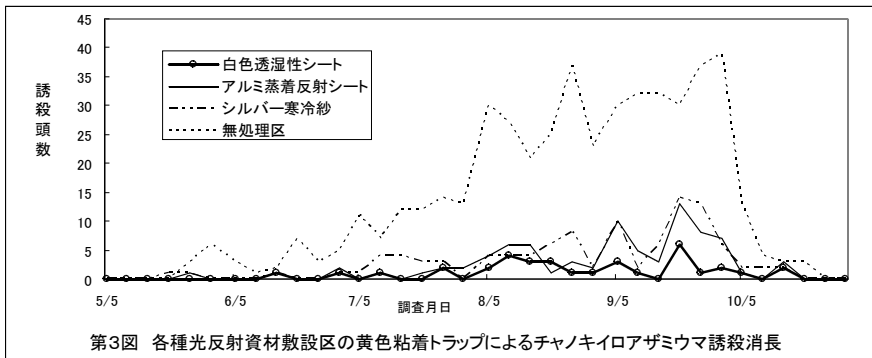
[具体的データ]



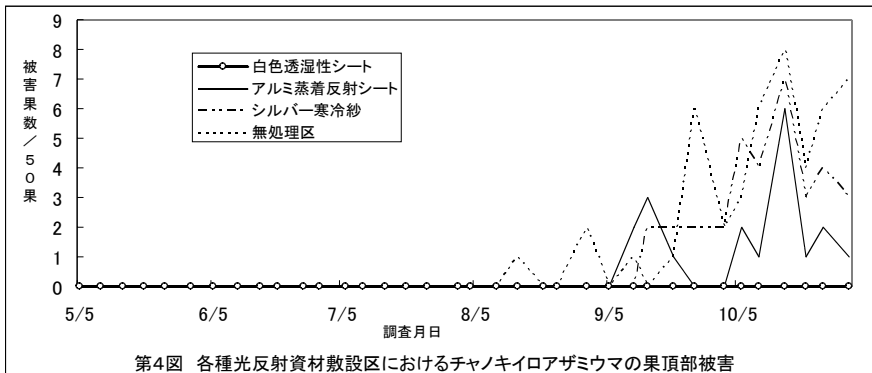
第1図 試験ほ場設置状況



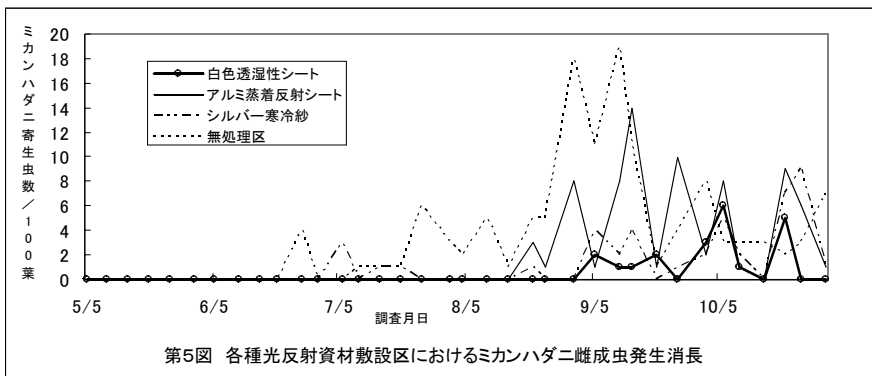
第2図 各種光反射資材敷設区におけるユキヤナギアブラムシ発生消長



第3図 各種光反射資材敷設区の黄色粘着トラップによるチャノキアザミウマ誘殺消長



第4図 各種光反射資材敷設区におけるチャノキアザミウマの果頂部被害



第5図 各種光反射資材敷設区におけるミカンハダニ雌成虫発生消長

[その他]

研究課題名：ウンシュウミカン園における光反射資材の物理的防除効果

予算区分：県 単

研究期間：平成17～19年

研究担当者：中 一晃

発表論文等：